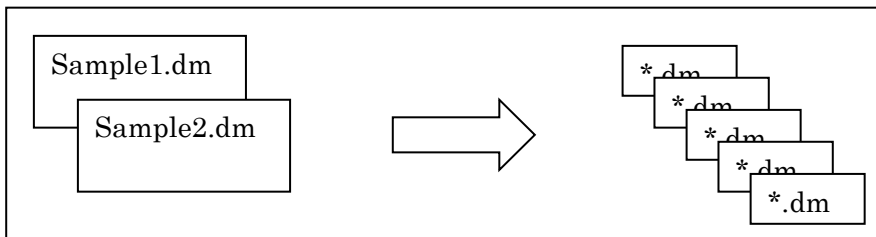


1. 図郭別のファイルに分割 2

新メニュー「図郭別のファイルに分割 2」を追加しました。

地図情報レベル 10000 の dm を、地図情報レベル 2500 の図郭に分割するなど、図郭の分割・統合を行います。



DM ファイル入力フォルダ

変換元の DM ファイルのフォルダを指定します。DM のファイル名は任意ですが、拡張子が.dm のファイルを参照します。

平面直角座標系番号

作成する DM ファイルの平面直角座標系番号を指定します。作成する DM ファイル名や図郭レコードの図郭名に使用します。

保存する DM ファイルの地図情報レベル

保存する DM ファイルの地図情報レベルを分割します。

DM ファイル出力フォルダ

図郭別に分割・統合した DM ファイルを保存するフォルダを指定します。保存する DM ファイル名は
平面直角座標系番号 + 図郭名 + .dm
です。

確認用の kml・kmz ファイル

保存した DM ファイルの要素の範囲の矩形と図郭名の kml・kmz ファイルを保存します。範囲の確認用です。不要な場合は空白にしておきます。

以下の処理を行います。

- ① 入力 DM ファイルの要素の座標から、保存する DM ファイルの図郭を計算します。
- ② 入力 DM ファイルの要素を各図郭の DM データに分けます。面(E1)と線(E2)が複数の図郭にまたがっている場合、分割します。(複数の図郭の要素を一つにまとめる場合、要素の接続は行いません)

保存する DM ファイルについて、以下の設定を行います。

- ① 入力 DM の図郭レコードを一旦コピーします。複数の入力 DM が、ひとつの出力 DM に重なる場合、最初の入力 DM の図郭レコードを参照します。
- ② 図郭レコード(a)の「図郭識別番号」をセットします。
- ③ 図郭レコード(a)の「図郭名称」をセットします。
- ④ 図郭レコード(a)の「地図情報レベル」をセットします。
- ⑤ 図郭レコード(b)の「図郭座標」をセットします。
- ⑥ 図郭レコード(b)の「座標値の単位」を、出力する DM の地図情報レベルに合わせてセットします。

地図情報レベル=500、1000	⇒	1	「mm」
地図情報レベル=2500、5000	⇒	10	「cm」
地図情報レベル=10000	⇒	999	「m」
- ⑦ 出力図郭の要素に合わせて、図郭レコード(b)の「要素数」「レコード数」をセット
- ⑧ 図郭レコード(c)の隣接図郭識別番号をセット

```
リード D:\data\2017\20170120\ [ ] \test_a_0_10000\07FD3B.dm
0 [ ] B.dm 地図情報レベル = 10000
0 [ ] B.dm 要素の範囲 東西 = -32000.000 , -24000.000 幅 8000.000
0 [ ] B.dm 要素の範囲 南北 = 126000.000 , 132000.000 高 6000.000

保存 D:\data\2017\20170120\ [ ] \test_a_1_2500\ [ ] 0621.dm
保存 D:\data\2017\20170120\ [ ] \test_a_1_2500\ [ ] 0622.dm
保存 D:\data\2017\20170120\ [ ] \test_a_1_2500\ [ ] 0623.dm
保存 D:\data\2017\20170120\ [ ] \test_a_1_2500\ [ ] 0624.dm
保存 D:\data\2017\20170120\ [ ] \test_a_1_2500\ [ ] 0711.dm
保存 D:\data\2017\20170120\ [ ] \test_a_1_2500\ [ ] 0712.dm
保存 D:\data\2017\20170120\ [ ] \test_a_1_2500\ [ ] 0533.dm
保存 D:\data\2017\20170120\ [ ] \test_a_1_2500\ [ ] 0713.dm
```

ガイド レポート チェックリスト1 チェックリスト2 確認リスト 断面

□面(E1)が複数の図郭に分割された場合、それぞれ面(E1)として記録しています。線(E2)への変更が必要な場合、作成した DM を開いて、メニュー「要素リストアップ」なので変更して下さい。

□同じ分類コード・図形区分・間断区分の線(E1)の端点の座標が同じでも、接続してひとつの要素にする処理は行いません。

□方向(E6)や注記(E7)は、代表点の座標値で出力先の図郭を決定します。

□点(E5)等、代表点の座標値が図郭線上にある場合、両方の図郭に要素ができます。